



建交労



2026年9月6日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2026年秋年末闘争No.1

2025年度推進ニュース③通算424

発行責任者 小島 茂

神奈川県本部は9/6に第50回委員会を開催 第28回定期大会の方針骨子などを決定

神奈川県本部は9月6日 9:30 から神奈川県ろうどうプラザに於いて第50回委員会を開催し 10月19日に横浜開港記念会館での開催を予定している第28回定期大会の方針骨子をはじめ代議員定数及び役員定数、選挙管理委員会設置などを決定しました。

出席委員は定数 20 名中 10名(委任7名)、役員 12 名中9名＋傍聴参加 2 名が出席しました。神奈川県南支部からは定数どおり 5 名の委員：佐藤、和泉、大島、根井、赤羽と県本部の清野副委員長、金崎書記次長&傍聴者：益山、河野が出席しました。



委員会での開会挨拶をする清野副委員長



主催者を代表して挨拶する伊藤東一委員長

開会挨拶では清野副委員長が令和 8 年熊本地震や多発する豪雨災害に触れ自然災害への注意を喚起するとともにパワハラで辞職した山中横浜市長の問題にも言及し選挙戦の重要性を強調しました。委員会議長には県南支部の佐藤委員が選出されて議事を進行しました。

主催者挨拶に立った伊藤委員長は高市政権の傲慢・横暴を糾弾して憲法改悪阻止の運動を強調しました。

また、最賃闘争の到達点、ヤマト運輸と県本部争議の勝利報告、組織建設での奮闘や横浜市長選挙での関係組織の積極的対応などを呼びかけました。

そのあと、資格審査報告、議事運営の確認につづいて高橋書記長が (1)2026 年度大会方針骨子案、(2)大会代議員定数及び役員定数案、(3) 選挙管理委員会の設置を提案しました。大会スローガン(案)は「憲法 9 条をまもり、戦争のない社会を実現しよう—仲間の要求に寄り添う運動と組織をつくろう」と提起しました。

情勢のはじめでは憲法改悪の動きとアメリカ、ロシア、イスラエルによる国際法無視の先制攻撃・ジェノサイドを糾弾しこれに抗議する多くの国民の行動と連帯して平和憲法を守り「戦争する国づくり」をストップさせようと提起しました。



大会議案骨子を提案する高橋書記長

県本部2026年度運動方針骨子案の概要

情勢分析の基本には、国際法・人権無視の戦争や高市政権による大軍拡の推進、格差社会の拡大などを背景にした貧困層の増加、物価高騰と物価に追いつかない賃上げの現状などを指摘しています。また、神奈川県内の大企業が軍事部門に重点を据え、日産追浜工場跡地にはアメリカの兵器産業進出の動きがあるなど、神奈川県政が高市政権に追従して県民の暮らしと安全・平和を脅かし労働環境悪化の危険性も高まっていることを警告しています。

こうした情勢と 2025 年度の神奈川県本部のたたかいの到達点(経過)を踏まえた 2026 年度の運動方針骨子案では、①組織建設・組織拡大を最重点に位置づけ、②要求アンケートと対話運動を軸にすえた要求闘争の抜本的な強化、業種別運動・学習運動と結合した幹部育成のとり組み強化、③日本国憲法を守り、活かす国民的要求闘争・政治闘争の強化を掲げています。

和泉委員がギオン分会のたたかいを報告！

高橋書記長の提案後に休憩をはさんで討論が行われました。発言のトップは神奈川県南支部の和泉委員が立ちました。和泉委員はギオン分会の組合員が働く(株)ギオンでのパワハラ(いじめ)問題を契機にした労働者の建交労加入と問題の解決に向けたとりくみを報告しました。(株)ギオンは神奈川県相模原市に本社を置き全国に80以上の拠点をもち4000名の従業員を雇用する総合物流企業で業界では中堅以上に位置します。



和泉委員(左)と議長の佐藤委員

パワハラの被害にあった労働者が建交労に加入し、問題解決を求めて行った団体交渉では、「企業内でパワハラなどのハラスメント事案が多発していることが明らかになった。団交後の経過は報告を受けていないが会社側は今回の次案では適切に対応するはずだ。」と報告し「建交労組合員を増やすことが、(株)ギオンでのこうした問題解決につながる」と、発言をまとめました。その他の発言では、ダンプ支部の軽貨物とマイシィ分会のたたかいがそれぞれ報告されました。

高橋書記長が発言の“まとめ”をおこない、全議案は満場一致で採択され、最後に小野執行委員による閉会挨拶と稲川執行委員の発声による“団結ガンバロー”で閉会しました。

